

外科診療部長着任のあいさつ (令和2年4月1日付)

●はじめに

病院再編元年ということで、今後の当院外科（消化器外科）の近未来構想という大袈裟ですが、加西市民の皆様は遠くの大病院より近くの加西病院と思って頂ける信頼できる外科、延いては病院になるために、その一翼を担うべく、今現在、わたくし個人的に構想していることを、特に悪性腫瘍の治療を中心にお話させていただきます。それぞれの悪性疾患に対し、それぞれの学会で作成されている治療ガイドラインに則した形で治療方針を立てています。治療方法としては外科治療（手術）、内視鏡治療、化学療法、放射線治療（X線、粒子線治療 and/or スーパー留置術：昨年一部、通常の保険診療で行えます。）のいずれかあるいはその組み合わせで行うこととなります。治療方法の選択の際には、それぞれの治療方法のメリットやデメリットについて各科（外科、消化器内科、腫瘍内科、放射線科）より十分な説明を行い、毎週行う術前検討会や他科・他職種を混じえた月2回開催の消化器カンファレンス等で最終的に患者さんに提示できる治療方針を決めるよう努めています。手術の方針となった場合は、できるだけ速やかに（3週間以内）行う方針としています。

また、元来悪性腫瘍は高齢者に多い疾患ですが、昨今の社会の高齢化とともに、手術対象年齢も同様に高齢化が進んでいます。基本的には治療ガイドラインに則した形で手術方法を決めるわけですが、手術によるメリットと手術侵襲とのバランスを計りながら、年齢に応じた耐術可能な手術方法を選択しなければならないことがあります。手術をして癌は切除出来たけども術後合併症で生命が危険に曝され術後の日常生活の質が著しく損なわれたでは意味がありません。逆に術後経過は全く問題なかったけれどもすぐに再発したではこれもまた意味がありません。

●鏡視下手術について

現在、手術の手段として、開胸あるいは開腹といった体壁の破壊を伴うメスで大きな傷をつくる従来の方法と、体に5～10mmの穴を数か所開け、鏡視下に手術を行う方法（胸腔鏡あるいは腹腔鏡下手術）があります。

更に最近の科学技術の進歩により様々な技術が医療機器にも応用され、鏡視下手術においては高画質（フルハ

イビジョンから4Kへ）、3D（これまでは2D。つまり、わざわざ片眼で手術をするわけです。開腹手術は勿論、両眼をしっかり見開いてします。敢えて片眼を閉じて開腹手術をする外科医はいません。日常生活においても、敢えて片眼を閉じて生活している人はいません。片眼を閉じて車の運転をする人もいません。つまり、2Dでの鏡視下手術は特殊技術でしたが3D表示方式になり特殊技術ではなくなりました。）表示が可能となり鏡視下手術の対象疾患が大幅に広がりを見せています。良性疾患（胆嚢結石症、急性胆嚢炎、腹壁ヘルニア、急性虫垂炎など）のみならず悪性疾患（食道癌、胃癌、大腸癌、肝癌、隣体尾部腫瘍など）にまで広がっています。

この装置を用いることで、低侵襲な標準治療を行うことが可能となり、高齢を理由に安易な縮小手術を行うことを避けることができます。現在、当院でも、3D高画質（4K）鏡視下手術装置の導入に着手しています。

また、高度進行癌であれば、手術前に化学療法（抗がん剤）や放射線治療あるいは双方同時に行うことにより癌を小さくし手術侵襲の軽減を図るなど、ご高齢の患者さんにも過不足ない医療サービスの提供が可能となります。

術後は、現在、外科病棟詰所に隣接する病室を回復室（2室）として使用し、全身麻酔術後、人工呼吸器装着や緊急透析を要す場合、同室に入室し集中治療を行い、全身状態回復後は一般病床に転室して頂く形で術後管理を行っています。更なる集中治療の充実を図るべくHCU（High Care Unit）設置は今後の病院再編に向けての課題と考えています。

●おわりに

患者さんをお支える市立加西病院“one team”の一員として私共外科に与えられた役割を果たすため、外科もone teamとなつて、私のモットーである“逃げない、あきらめない”の姿勢で頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



(外科 高松 学)

広告

広告

6/30 高速バス 泉バス停にトイレ完成



▲完成した公衆トイレ（外観）

加西市では、高速バスを使っのパーク&バスライドを推進しております。このたび老朽化していた高速バス利用者向けの公衆トイレを多目的トイレに改築・完成しました。なお、中国道高速バス・泉バス停の北側無料駐車場は利用者が多く、満車の状態が続いているため、南側に新たに無料駐車場（27台分）の整備も進めています。

7/3 さわやか市民賞と賞賜金を贈呈



▲左から軟式野球協会大西会長、西村市長、伊東電機野球部の皆さん

加西市では、スポーツ等の分野で優れた成績を収められた伊東電機野球部にさわやか市民賞と賞賜金を贈呈しました。同野球部は、西日本軟式野球大会1部の兵庫県予選会で優勝し、同全国大会の出場権を獲得されました。北山監督は、「次は全国大会優勝が目標。これからもチーム一丸となって頑張っていきたい」と話されました。

まちの出来事

7/9 北条鉄道「鉄印帳」の販売開始



▲販売中の北条鉄道オリジナル鉄印帳

第3セクター鉄道等協議会に加盟する40社が連携事業として、沿線地域の振興を目的に、御朱印の鉄道版となる、鉄道会社のスタンプを記帳する「鉄印帳」の販売を開始しました。オリジナルの鉄印を作成した北条鉄道の富永篤史さんは「今まで北条鉄道に乗ったことがなかった人も鉄印帳をきっかけに利用してもらえれば」と話されました。

7/12 加西市観光まちづくり活動フォーラム



▲会場とオンラインで同時開催の様子

NPO法人プラス・アーツ 永田宏和さんを講師に迎え「まち活」を開催し、会場50名、オンライン15名の方が参加されました。地域とのかかわり方や市民それぞれの役割について「風・土・水そして種～加西市豊饒化計画スタート～」を演題にお話しをいただきました。また参加者同士の意見交換もあり、何か行動に移したいと思える刺激的な時間になりました。

広告

広告